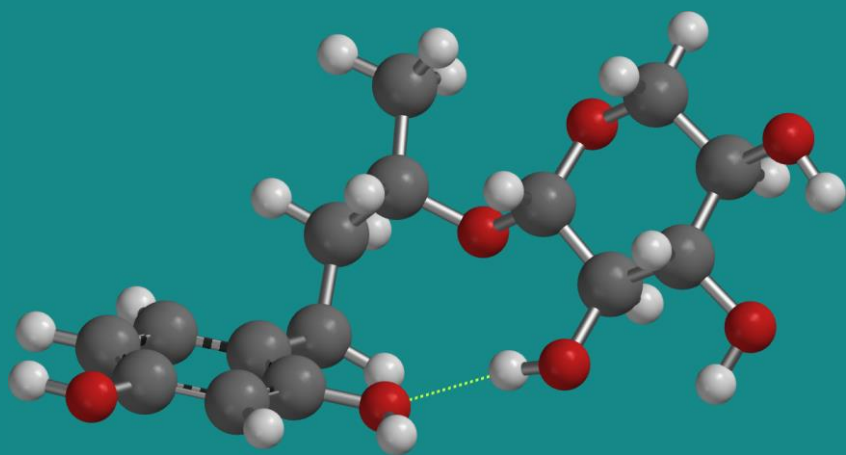


立体的に考える分子化学

—三次元的な化合物をつかって，生理活性をしらべよう—



なんとなくわかる，
分子が立体的であること

日時

8月3日(土)

9時—17時30分

(8時30分受付開始)

高校生対象

参加費無料

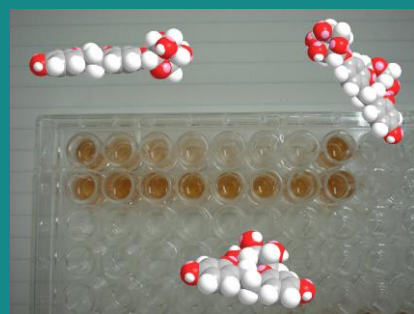
会場(代表者)

宇都宮大学農学部

応用生命化学科(二瓶)

「くすりのような化合物」をつくり，「酵素」を用いて，その効き目を調べる。本企画は，そのような実験中心のプログラムになっています。「くすりのような化合物」は，当研究室で開発した有機化合物です。皆さん自身で，その化学合成を体験してもらいます。「酵素」は，チロシナーゼを用います。肌が日焼けする時などに，この酵素は働きます。

本企画は，農学だけでなく，薬学，理学もしくは工学に興味がある方も，楽しめるものになっています。代表者は今まで，昆虫の食欲を失わせる化合物，カビを変形させる化合物や細胞の色を変化させる化合物などの研究を行ってきました。本企画を通して，皆さんにもそのような生理活性物質の研究の一端を体験していただければと思います。



お申込み・お問合せ

tokimeki@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

028-649-5399(桐原)

<https://www.jsps.go.jp/hirameki/>

7月26日(金)締切(定員20名，先着順)

